

歴史

⑥ 平安時代・鎌倉時代

(1) 平安時代③

1. 10世紀になると都や地方で武士がおこり、地方の武士は家来を従え(①)をつくるものが現れた。
2. 西日本に勢力を広げた桓武天皇の子孫の(①)は(②)
3. 東日本に勢力を広げた清和天皇の子孫の(①)は(③)
4. 地方の陸奥や出羽を支配したのは(④)で、平泉を根拠地として、(⑤)を建てた。
5. 関東では(⑥)が新皇を名乗り反乱を起こし、一時関東地方の大半を支配した。
6. 瀬戸内では(⑦)が海賊を率いて大宰府などを襲った。
7. 東北では蝦夷の子孫である安部氏が勢力を拡大したため(⑧)が起こった。
そののち東北地方を制覇した清原氏の跡継ぎをめぐる争いが起こった。(⑨)
8. (⑩)は位を幼い皇子に譲って(⑪)になってからも政治の実権を握り、摂関家である藤原氏をおさえた。
(⑪)が行った新しい政治を(⑫)という。
9. (⑪)は寺社を厚く保護したので、寺社は多くの荘園を持ち、(⑬)をかかえて勢力を拡大していった。
10. 1156年、崇徳上皇と後白河天皇の対立から(⑭)が起こった。
11. 1159年、勝利した後白河天皇についた平清盛と源義朝の対立から(⑮)が起こった。
12. 勝利した平清盛は武士として初めて(⑯)となり政治の実権を握った。
13. 平清盛は(⑰)との貿易を行った。その貿易を(⑱)という。
貿易のために(⑲)にある港(⑳)を修築して、貿易による利益を得た。

問題	解答	問題	解答
①		⑪	
②		⑫	
③		⑬	
④		⑭	
⑤		⑮	
⑥		⑯	
⑦		⑰	
⑧		⑱	
⑨		⑲	
⑩		⑳	

(2) 鎌倉時代①

1. 平清盛の政治へ武士の不満が高まると、源氏を中心とする諸国の武士が兵を挙げた。伊豆に流されていた(①)が拳兵し、弟の(②)に平氏を攻めさせた。
2. (①)は(③)を本拠地にして指揮をとった。(③)は三方を山で囲まれ、南は海に面している守りやすい土地だった。
3. (②)は現在の(④)県で起こった(⑤)で平氏を滅ぼした。
4. 1185年、国ごとに置かれ、軍事・警察に関する役目を担ったのは何か。(⑥)
5. 1185年、荘園や公領ごとに置かれ、年貢の取り立てや土地の管理をしたのは何か。(⑦)
6. (①)は平泉を本拠地に使っていた(⑧)を滅ぼした。
7. 1192年(①)は(⑨)に任命され、政治制度を整えていった。
8. 鎌倉幕府の初代将軍は、主従関係を結んだ武士を統率し、武士による社会を築いていた。
その主従関係を結んだ武士を何というか。(⑩)
9. 領地の支配を認め、保護し、手柄の褒美として新たな領地を与えることを(⑪)という。
戦いに参加すること、京都や鎌倉の警備を行うことを(⑫)という。
10. 鎌倉幕府の初代将軍の死後、幕府の実権は(⑬)氏に移った。源氏の将軍は3代で途絶えた。
(⑬)氏は将軍の力を弱めて将軍の補佐役である(⑭)の地位を独占して政治を行った。この政治を(⑮)という。

11. 第3代将軍が殺害される事件が起こると、好機と見た(16)は兵を挙げるが、幕府軍に敗れるこの戦いを(17)という。

12. その戦いのとき(18)は、

「みなの方、よく聞きなさい。これが最後の言葉です。初代将軍が朝廷の敵(平氏)をたおし、幕府を開いてこのかた、官職といい、土地といい、その恩は山より高く、海より深いものでした。名誉を大事にする者は、京都に向かって出陣し、逆臣を討ち取り幕府を守りなさい。」

と御恩と奉公を強調し、結束を呼び掛けた。この人は誰。

13. この戦いの後、幕府は(19)を監視するために京都に(20)を置いた。

問題	解答	問題	解答
①		⑪	
②		⑫	
③		⑬	
④		⑭	
⑤		⑮	
⑥		⑯	
⑦		⑰	
⑧		⑱	
⑨		⑲	
⑩		⑳	

(3) 鎌倉時代②

1. この時代、地頭の勢力が強くなり荘園への支配権を拡大していった。

荘園領主との間で争いが激しくなったため、幕府は荘園の土地を地頭と荘園領主で分け合う(1)が行われた。

2. 地頭と荘園領主の争いが拡大したこともあり、幕府の(2)は武士の慣習を基に裁判の基準を示すため1232年、(3)を制定した。

3. 武士の家は一家の長でもある(4)が中心となってまとめていた。土地は(5)相続で、(6)にも与えられた。

4. 農業では牛馬が耕作に利用され、肥料には草木灰が使われ、表作として米、裏作として小麦をつくる(7)が行われるようになった。

5. 寺社の門前や街道の宿場などで月に3回開かれる(8)が全国的に普及し、取引の際には(9)が使われた。

がっこのおとこ

中学生 問題集



6.

鎌倉時代の文化は武士の好みを反映した写実的で力強い文化が生まれた。
東大寺南大門にある上の写真の(10)は(11)の作である。

7. 鎌倉時代の文学作品としては

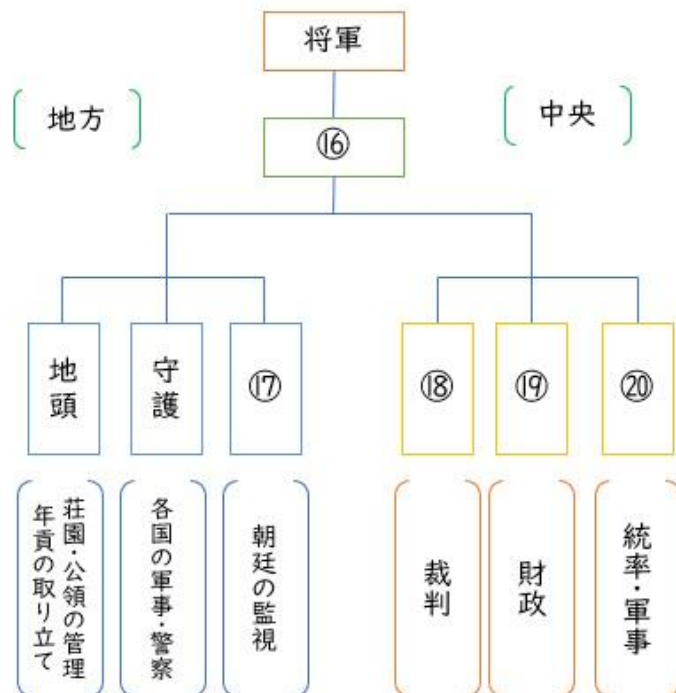
後鳥羽上皇の命令でまとめられた藤原定家らの歌が収められた(12)

琵琶法師が語り広めた平氏の繁栄から没落までを描いた(13)

「つれづれなるままに…」ではじまる吉田兼好が書いた随筆(14)

「ゆく河の流れは絶えずして…」の有名な書き出しの鴨長明が書いた随筆(15)

8. 下の図は鎌倉幕府の政治の仕組みです。それぞれの役職を答えよ。



がっこのおとこ

中学生 問題集

問題	解答	問題	解答
①		⑪	
②		⑫	
③		⑬	
④		⑭	
⑤		⑮	
⑥		⑯	
⑦		⑰	
⑧		⑱	
⑨		⑲	
⑩		⑳	

(4) 鎌倉時代③

1. 下の図は鎌倉時代の新しい仏教です。それぞれの宗派と開祖を答えよ。

宗派	開祖	教え
(①)	(⑦)	念仏
(②)	(⑧)	念仏・悪人正機説
(③)	(⑨)	踊念仏
(④)	(⑩)	題目
(⑤)	(⑪)	座禅によって悟りを開く
(⑥)	(⑫)	座禅によって悟りを開く

2. 鎌倉時代に新しい仏教がおこり、急速に広まった理由を書きなさい。(⑬)

問題	解答	問題	解答	問題	解答
①		⑦		⑬	
②		⑧			
③		⑨			
④		⑩			
⑤		⑪			
⑥		⑫			